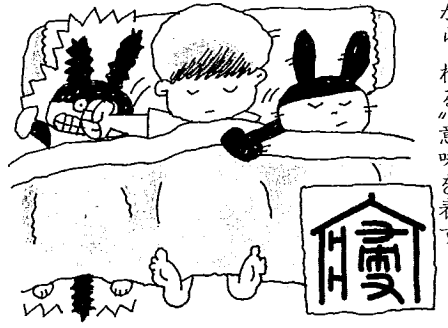
寝

13画



おん シン　くん ねる・ねかす

なりたち 牀（ベッド）の意味の丬と㝵と宀（家）との会意形声字。ほうきで掃き清められたベッドのある家という意味の字。そこは〝ねる〟所であるから〝ねる〟意味を表す。

いみとじゅくご

▼ねる。ねむる。やすむ。寝具…寝る時に使うもの。ふとん・枕（まくら）・ねまきなど。寝所…寝ることに使う部屋。寝室。寝食…寝ることと食べること。日常の生活。**用例** 寝食を忘れて働く。寝食を共にする。就寝…寝るために床に入ること。

▼静かに休息する部屋。奥の居間。寝殿…昔、主人が寝起きする正殿。中央にあって主人が居住し客を応接する所。**例** 寝殿造り（平安時代に発達した貴族の屋敷の造り。）

よみかた 寝台・寝汗・寝返り・寝心地・寝言・寝覚め・寝相・寝冷え・寝不足・寝坊・寝業・朝寝・仮寝・旅寝・昼寝

信

【4年】

9画

おん シン　くん

なりたち 人と言との会意字。人の言葉は真実でうそいつわりがあってはならない。言葉の最も大切な徳である〝真実（まこと）〟を表した字。また、相手の言葉を真実だと心から思って〝少しも疑わぬ〟こと。

いみとじゅくご

▼まこと。うそいつわりのないこと。信義…約束を守り、義務を果たすこと。信実…まこと。まごころ。**用例** 信実のある人。

▼まことと思って疑わない。信用…相手をまことと思って受け入れること。信仰…神や仏を信じて尊ぶこと。

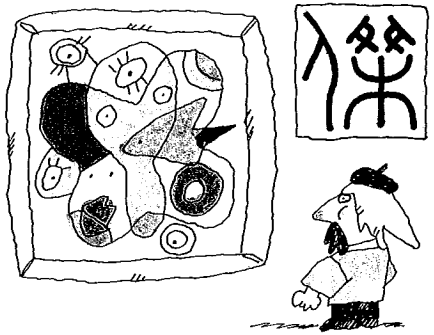
▼信…信仰心があついこと。過信…信じすぎること。**用例** 健康を過信する。

▼伝達の手段。たより。手紙。信書…個人のあいだでやりとりする手紙。**用例** 信書の秘密を守る。音信…たより。**例** 音信不通

よみかた 信教・信号・信者・信条・信賞必罰・信託・信女・信奉・威信・自信・背信

傑

13画



おん ケツ　くん

なりたち 舛は両足を表す。木の上にある桀は高い所に立って見通しがきくことを表す。傑は人にぬきん出て〝すぐれた人〟という意味の字。

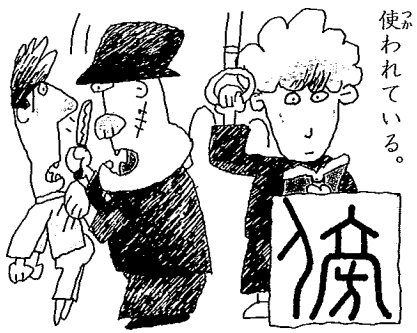
いみとじゅくご

▼すぐれた人物。英傑…非常にすぐれた大人物。すぐれた判断と指導力によって大事業を行った人物。豪傑…武勇にすぐれ、力も勇気も備わった人物。傑物…非常にすぐれた人物。女傑…勇気や知恵などに特にすぐれた男まさりの女性。

▼すぐれる。ひいでる。傑作…できばえが特にすぐれた作品。転じて、珍妙でおもしろいことにも使う。**用例** それは傑作な話だ。傑出…多くのものの中で、ずばぬけてすぐれていること。**用例** 歴代の首相の中でも傑出した人物。

傍

12画



おん ボウ　くん かたわら

なりたち 城門の形の亠と方との形声字である旁は、城門の左方や右方という意味で、〝かたわら〟の意味を表した字。傍は〝人のかたわら〟という意味の字だが、旁と同じように使われている。

いみとじゅくご

▼かたわら。そば。わき。傍観…そばでながめていること。ながめるだけで関係しないこと。**例** 傍観者的態度 傍聴…許可をうけて、そばできくこと。**用例** 裁判を傍聴する。傍線…注意や強調のため、文字のわきに引く線。傍受…他人の間で交わされる無線電信を、第三者がわきから聞くこと。傍若無人…人前をはばからず、勝手気ままにふるまうこと。「傍らに人無きが若（ごと）し」をそのまま音で読んだもの。傍系…本流から分かれた系統。**例** 傍系会社 路傍…みちばた。**用例** 路傍の人。（自分に深い関係を持たない人。）

よみかた 傍点・近傍